

くすやま美紀(樟山みき)活動報告



2021. 6. 24 NO. 310

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610

コロナ禍でこそ文化芸術支援の強化を

私は、第2回定例会一般質問で、ライブハウスなどの実態も紹介し、文化、芸術支援の強化を求めました。

アーティストは必要不可欠

質問の冒頭、ドイツのグリユッタース文化大臣の「アーティストは今、生命維持に必要不可欠な存在」という発言を紹介。区民の文化芸術の創造、鑑賞への支援に対する区の認識を質しました。

担当部長は、「区がしっかり取り組むべきことと認識している」と答弁しました。

ライブハウス店長の声を紹介

高円寺のライブハウスの店主からの聞き取り調査で、5月の収入は、コンサート2回のみで1万4千円だったという実態を紹介しました。

区も「休業または一定の制約のもとで活動せざるを得ない状況に置かれた」と述べ、「アート応援事業で後押しした」と答弁しました。



6月1日、本会議場にて

「応援事業」の後退を厳しく批判

私は、昨年度の「アート応援事業」を評価しつつ、今年度は、規模、助成額が後退していることを明らかにし、見直しを求めました。

区は「事業規模については、新型コロナウイルスの感染状況等を見極め支援する。下半期については適切な時期に検討してまいりたい」と答弁しました。

	昨年度	今年度
発信の場継続給付金	補助額（法人の場合）	
	40万円	20万円
新しい芸術様式助成金	助成件数	
	600件	50件
日フィル活動支援	1公演当たり補助	
	220万円	88万円

博物館行政の異常な遅れ浮き彫りに

博物館行政について、予算特別委員会での私の質問に、区は誠実に対応しなかったため、今定例会では、本会議で再度質問。近隣区の社会教育施設数、面積、来館者数を明らかにしました。来館者数は桁違いの低さで、さらには、近隣の大半が区立、市立美術館をもっていることも明確にしました。（裏面の表参照）

杉並区の社会教育、とりわけ区ゆかりの芸術家とその作品紹介の取組が近隣とくらべても異常に遅れていることが浮き彫りになりました。（裏面に続く）

元美大教授の日本画家、コラムニストなどから、私の質問に激励、要望の声が！

第1回定例会予算特別委員会で、私は、杉並区ゆかりの芸術家とその作品の紹介に関する質問を行い、その議事録を区内在住の芸術家の方々に返信ハガキ付きで送りました。

すると、画家、コラムニストなど各分野の方から、提案、激励のハガキを寄せていただきました。一部を紹介します。

議員の発言に賛成

私は96歳の日本画家。95年間阿佐谷に住み続けています。文化都市すぎなみという言葉は以前から聞いていましたが、実態はご承知のとおり、残念に思っています。作家の為というより、学校や社会教育のために美術館的な活動がほしいです。議員の発言に賛成いたします。（この方は、女子美術大学、武蔵野美術大学の教授を勤められた方です）

美術館あれば作品寄付

くすやま美紀区議の活動に感動いたしました。杉並区の文化・芸術振興プランがないことに驚きました。（中略）私はセッションでの美術展に以前出展いたしました。それぞれの道で文化交流が育む世になることを望みます。美術館があれば作品、寄付できるのですが。

ユニークな企画展をやっていた

杉並郷土博物館については、なかなかユニークな企画展（高円寺フォーク伝説…）をやってきたという印象をもっていますが、最近そのユニークな展示が荻窪の分館に移って小規模になった…という気がします。

郷土博物館の図録は充実していたと思います。できれば復刊してほしい資料がいくつかあります。

（この方は、テレビにも出演されているコラムニストの方です）

近隣区の博物館、美術館、文学館などの数、来場者数

	施設	年間来場者数
新宿	5	1 4 6, 0 2 8
世田谷	6	5 4 8, 9 5 5
練馬	3	3 2 7, 2 2 3
杉並	2	3 1, 9 5 3

近隣の区市立美術館設置状況

世田谷区	世田谷美術館
目黒区	目黒区立美術館
渋谷区	松濤美術館
練馬区	練馬区立美術館
武蔵野市	吉祥寺美術館
杉並区	なし

杉並区の社会教育費の低さ 答弁は虚偽だった

区の答弁が虚偽だったことも今定例会の質問で浮き彫りになりました。予算特別委員会で、区は、社会教育費の決算額が23区で18位と低い実態について、他区はスポーツ経費を入れていたためと答弁しましたが、今回の答弁で「不正確な部分があった」と答弁。他区は、スポーツ経費を入れていたため高いとの答弁は虚偽でした。



（アスパラとミニトマト 吉田信夫 画）